

〈緑化審議委員会〉

平成25年度帯広市新総合体育館建設について意見発表会

平成25年12月18日

- ①、今後一番利用されると思われる帯広市の青少年の育成の観点からの意見です。
- ②、私は子供達と直接（50年間）触れ合いの中で生活をしてきました。随分と若者の姿が変わった事を実感しています。
原因は情報機関の進歩・発展です。具体的には「携帯電話(スマートフォン)やパソコン」の普及と思われます。
その中で…体を動かす事を嫌う…？引きこもりの青少年が随分増えました。
- ③、今や高校中退者を含め、ニート(働くこと出来ない若者-年齢15~39歳) 就労対策を含め行政面では近々の課題とされています。
全国では12万人以上(6ヶ月以上引きこもり)を言われています。帯広市でも帯広地域若者サポートステーション(帯広市西2条南7丁目1番地)の発表では利用者は年間3,000人以上とされています。「居場所」づくりの大切さです。
- ④、帯広市の今後の発展には若者達の動向が大きな役割を示し利用者を考える必要があります。
- ⑤、そこで、総合体育館は大いに期待する所です。総合体育館は若者達が「居場所」を含め利用しやすい場所を考えたいです。
すなわち、アクセス(情報・交通手段)しやすい場所を考えたいです。また、教育設備・防災施設として利用しやすい場所を考えたいです。(特に防災は市民の見近いな場所が大切)
- ⑥、現在の総合体育館は場所的に利用しにくい現実がある。
現に基本調査の中の図のグラフで示されている。
(大会開催数の推移では上がり…利用者数は下がっているで示されている)
- ⑦、また、駐車場が狭く、しかも帯広市の中心から外れている。川を渡れば「音更町」です。また、森の体育館は「芽室町」に重なっているのでは…？(帯広市から考え-逆地です。)
- ⑧、私の言いたい事は身近な生活の中に置きたいです。「いつ…誰でも…」利用しやすい場の必要性です…かと言って…！商店街では…新たな問題も起きます。

⑨、各種の大会に備えて広い駐車場の必要を求められます。そこで現在の「緑ヶ丘公園」内の元の「陸上競技場跡」が…！「現在地・啓北公園・南商跡地・緑ヶ丘公園・帯広の森運動公園内」の4ヶ所に狭められた中では最適に考えます。

⑩、利点は駐車場は百年記念館と複合出来る。また現在の総合体育館は閉鎖しないで移転できる。またアクセスがよい。「未来の青少年達が心の癒し場」として利用しやすい。

⑪、また、現在の「みどりと花のセンター」（もう建物が古い）と競合・複合して…！青少年・就労者向けの職業的自立・技術訓練を受ける場…？

「新みどりと花のセンター」での温床でコーヒ等の軽食場は「心の癒し」は素晴らしいと思います。夏場は周りの樹木・芝生での団らんの語らいの光景が浮かびます。また、光熱費や職員配置の人件費等の兼用で市費削減にもつながる。

⑫、その他（建設後の内容で西12条が国道38線との二車線道路になっているはず…？理由は現在は競馬場まできている）

※また、障害者のスポーツを含めアクセスは絶対に必要です。

以上です。